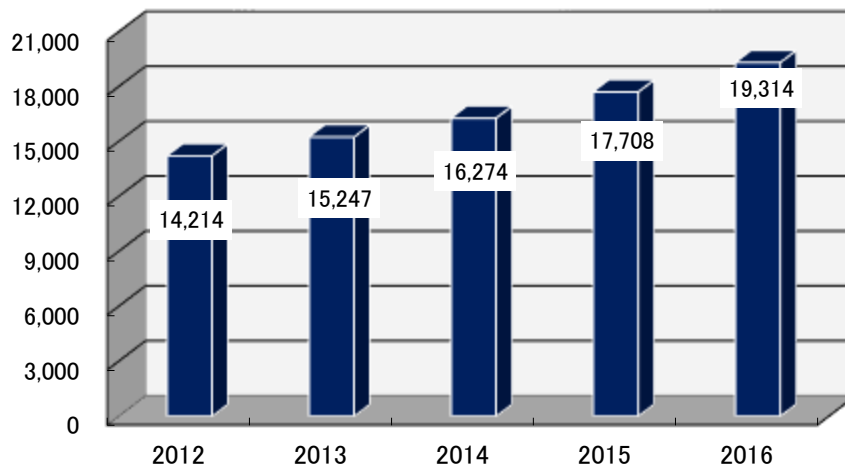


## 多文化共生社会推進計画 改訂の視点

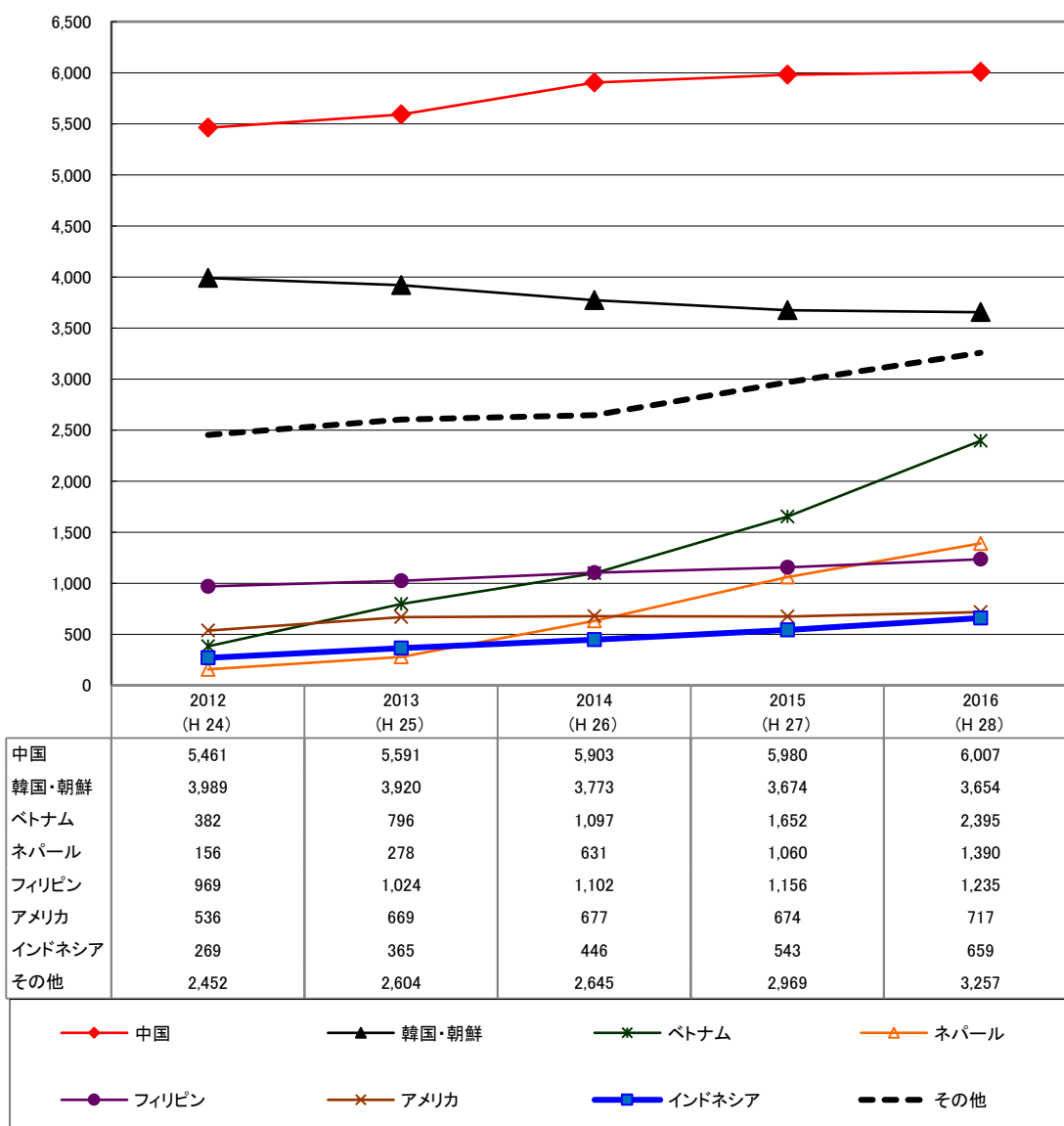
## 1. 在住外国人の現況の変化（H24.12.31→H28.12.31）

## (1) 在住外国人の状況

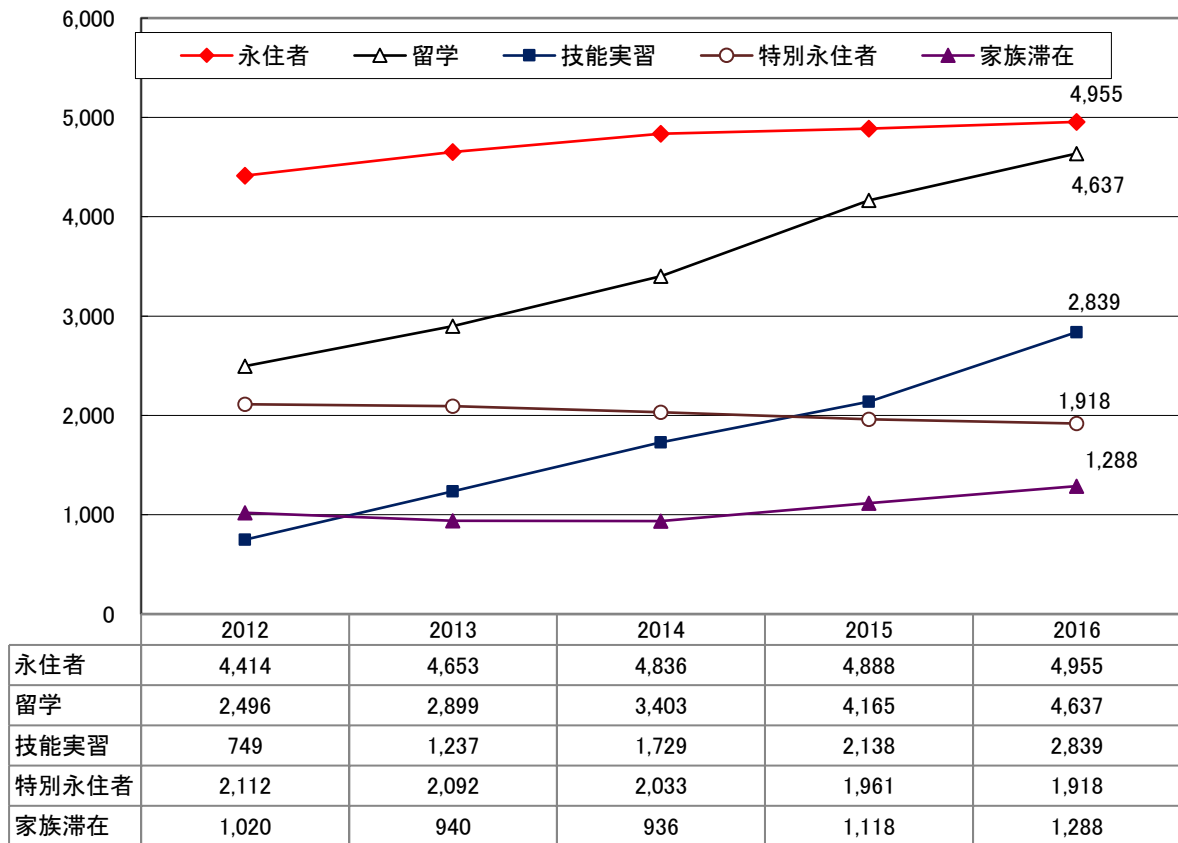
## ①全体数



## ②国籍別



### ③在留資格別



### (2) 平成24年から平成28年までの変化状況

- ① 在住外国人総数は毎年増加しており、平成27年からは過去最高を更新している。
- ② 国籍別では、最も多い中国は微増、韓国・朝鮮は減少傾向にあるなか、ベトナム・ネパール・インドネシアといった東南・南アジア諸国の増加が顕著である。
- ③ 在留資格別では永住者や特別永住者といった長期間にわたって日本で生活する在留外国人数はほぼ横ばいなのに対し、技能実習や留学の資格をもつ在住外国人数の増加が顕著である。

## 2. 評価指標の状況 (H25→H30)

### ① 評価指標1「多文化共生啓発事業を実施している市町村数」

H25 計画値	H26 実績値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 目標値
2 市町村	4 市町村	6 市町村	7 市町村	—	3 5 市町村

### ② 評価指標2「多文化共生に関する説明会等に参加した県民の数」

H25 計画値	H26 実績値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 目標値
0 人	0 人	2 0 3 人	6 4 1 人	—	7 5 0 人

### ③ 評価指標3「多言語による生活情報の提供実施市町村数」

H25 計画値	H26 実績値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 目標値
9 市町村	1 2 市町村	1 4 市町村	1 8 市町村	—	1 6 市町村

④ 評価指標 4 「日本語講座開設数」

H25 計画値	H26 実績値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 目標値
28 講座	27 講座	28 講座	27 講座	—	32 講座

⑤ 評価指標 5 「外国人相談対応体制を整備している市町村数」

H25 計画値	H26 実績値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 目標値
5 市町村	6 市町村	6 市町村	6 市町村	—	9 市町村

⑥ 評価指標 6 「技能実習生を除く外国人雇用者数（厚生労働省調べ）」

H25 計画値	H26 実績値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 目標値
3,212 人	3,945 人	4,042 人	4,763 人	—	3,900 人

※ 上記の実績値は、計画値に合わせ、H26はH25の実績、H27はH26の実績、H28はH27の実績を用いることとしている。

### 3. 改訂の視点

現行計画の理念や基本方針を継承し、現状と課題や必要な施策について改めて整理したものとする。今回は現行計画策定時からの在住外国人県民をめぐる環境変化に焦点をあて、施策の方向性を検討する。

#### (1) 環境変化

##### ① 総数の増加（H27より過去最高を更新中）

→総数としては、今後も増加を続けていくことが予想される（現行計画にも記載あり）

##### ② ベトナム・ネパール等の東南・南アジア諸国の方々の増加

→東南・南アジア諸国の方々についても、今後も増加が見込まれる

##### ③ 技能実習生・留学生で在留する方々の増加

→技能実習生・留学生についても、増加を続けていくことが見込まれる

#### (2) (1)に伴うサポートの複雑化・多様化

→言葉の壁（生活情報の多言語化・日本語講座の重要性）

→生活の壁（生活サポート（相談対応）の複雑化）

#### (3) 労働者増加についての整理

→技能実習生や留学生など資格外活動の労働者が増加

→永住者や特別永住者など日本で長期間生活する方々へのサポートとの整理

#### (4) 今後の環境変化（国籍・在留資格の増減など）の予測の難しさ

→著しい変化に対応した計画の見直しの必要性